



NIAふれあい掲示板NEWS

7月

2017年7月1日発行 Vol.72

習志野市国際交流協会 日本語教室部会

●NIAの予定 7月～9月●

7月 2日(月)～ 7日(土)	七夕とスピーチ茶話会	場所: 6階 大会議室
7月 15日(日)	習志野きらっとサンパ	
7月 18日(水)	日本語ボランティア研修会	時間: 13:30～16:30 場所: 6階 大会議室
7月 20日(金)	世界の料理教室 ベトナムの家庭料理	時間: 10:00～ 場所: 菊田公民館
8月 25日(土)	日本語教室 部会 親睦会 (盆踊り)	時間: 16:00～20:00 場所: 6階 大会議室

●学習者紹介●

①名前 (学習曜日) ②出身国、都市 ③趣味 ④担当日本語ボランティア



- ① セレスタ ロサニ(月)
- ② ネパール、シャンザ
- ③ 読書、旅行、絵を描くこと
- ④ 馬場 眞子



- ① 張 赫(水)
- ② 中国、ハルピン
- ③ 家族旅行、映画、ミュージカル観劇
- ④ 石橋 宏



●あすなろ 書道体験教室 6月6日(水)●

江戸川 恵美子 日本語ボランティア(水)



今回は外部から世良宣義先生をお招きし、6か国10名の学習者と幹事を含む13名のボランティアが参加しました。

はじめに基本的な筆使いの書き始めの入り方と、終わりの止め方を「一」の字で教わりました。そして「十」「木」「山」を何回も書きながら、止め・跳ね・払いを習い、徐々に筆に慣れ、最後は自分の好きな字を色紙に書きました。難しい「愛」に挑戦したり、子供の名前を書いた学習者もいました。自分の名前「鈴」を書いた石井さんは、タイの両親にメールで送って見せたそうです。難しかったけど、一生懸命色紙に書いた作品を持って、嬉しそうに写真に納まりました。



●タスカルーサ市の高校生が来日 6月14～25日●

習志野市の姉妹都市タスカルーサから、20人の高校生と2人の引率者が来日。習志野市の4つの高校訪問を始め、様々な文化体験と交流を経験し、思い出を沢山作りました。



左: 阿武松 部屋の力士と
右: アメフト選手の見事な押し出し



左: 真剣な剣道の稽古風景
右: 日本の派遣高校生と浅草へ



東邦高校剣道部の稽古に参加し、面・籠手・胴を練習(6/18)

●NIAふれあい祭り 6月9日(土)●

谷津干潟自然観察センターにおいて、「谷津干潟の白フェスタ」と同時に開催されました。今年初めての真夏日、テント内にパネルを展示して、協会5部会とNI-Youth等の活動を来場者に紹介しました。



さよならパーティ(6/23 谷津干潟) 楽しい思い出を胸に、25日帰国の途へ

●私のふるさと自慢②● 韓国 ソウル

ソ ミンギョン 学習者(月)

ソウルは朝鮮時代(1392年~1910年)の都で、古い遺跡がたくさん残っています。ソウル中心に朝鮮時代の景福宮、徳寿宮、昌慶宮などの王宮と北村韓屋村があり、その周りに世界各国の大使館が集まっています。そのため古宮を通ると、時代と空間を超越する特別な気分を感じることができます。私が高校生の頃、景福宮や徳寿宮を見物してからキョボ文庫(韓国最大の書店)に



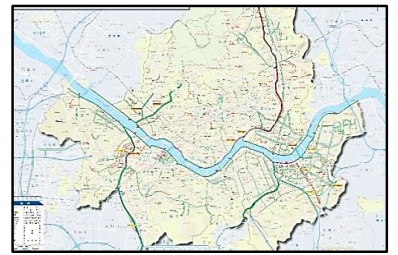
夜にはライトアップされる景福宮



600年の息遣いが感じられる北村

よって本を読んで帰るのが、私のストレス発散法でした。北村は昔から、ヤンバンという朝鮮時代の上流階級が住んでいた所です。景福宮と昌徳宮の間に位置した北村は、韓国の伝統的な建築様式であるハノクが密集しています。また数多くの史跡と文化財、民族資料を保持しており、都心の中の博物館とも呼ばれています。

漢江の長さは、514 kmです。川の風景は美しく、テレビドラマにも沢山出てきます。私は漢江から昇る太陽と夜景が大好きです。朝日を見ながら学校に行ったり出勤したり、川の土手に座って南山



漢江を中心に江北と江南に分かれる



漢江から眺めた南山の上のタワー

タワーのイルミネーションを眺めながら、未来を夢見ていた思い出があります。とうとうと流れる漢江に沿って行くと、南側に冠岳山、北側に北漢山が見えます。私は故郷が懐かしくなると、鳥になって漢江を飛んでいく場面を想像します。ソウルに帰れば、いつでもお母さんの懐のよな冠岳山、凜とした感じの北漢山が私を迎えてくれます。

*ふれあい掲示板NEWS8月号はお休みです。

